

令和4（2022）年度 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

I. 総括

令和4（2022）年度事業計画は、電話相談事業を引き続き円滑な運営を行うこと、相談技術の向上、入力やデータ処理の充実、0歳児早期の相談への対応、さらに今後の大阪府における小児救急医療や子育てに貢献できるよう、体制の強化や他団体と連携して活動するという以下の3点を目標とした。今年度も新型コロナウイルス（以下 COVID-19）感染の影響は大きく、第7波では小児患者の激増を受け、相談は一時期ひっきりなしに受電し、その後も相談件数の増加傾向は続いた。データ処理にも時間を費やした。ホームページを改訂し、会員ページでシフト表を共有できるようになり、一般への記事も見やすくなった。小児科医リスト掲載とその案内という手法や研修のオンライン参加など、WEB活用に踏み込んだ1年であった。新生児対応としてマニュアル作成や産婦人科医アンケートも行った。

1. 電話相談事業の充実を図る
2. 電話相談からの知見を活用し、小児救急に関する啓発を行うと共に0歳児支援を検討する
3. NPO法人としての活動を強化する

1. 当団体の運営により、大阪府小児救急電話相談（#8000）事業を行った。COVID-19感染症やその他感染症の増加などを受け、相談件数は73,075件と過去最多であった。
2. （一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、運営会議および医会会報上で意見交換を行った。小児かかりつけ診療所加算の算定がR4年4月から#8000との連携でも加算できるようになったとの連絡があった。
3. COVID-19感染関連の入力項目を作成し、8月より入力集計に変更して、毎月大阪府に報告した。
4. COVID-19感染対策として、相談業務は消毒や換気を行いながら継続した。
5. 厚生労働省HPの「COVID-19感染拡大を踏まえたオンライン診療について」から大阪府小児科標榜医療機関を抜粋したリストを、引き続き当団体HPに掲載した。
6. SOMPO福祉財団基盤強化資金助成を受け、ホームページを改訂した。
7. 大阪府#8000の電話相談員の研修はオンラインを併用し、年間5回行った。
8. #8000全国情報センターに9月～11月分の相談に関するデータを提供した。
9. 8月に開催された日本外来小児科学会では、WSと一般演題に参加した。
10. 小児救急電話相談テキストの販売案内を作成し、大阪小児科医会・小児科関連の学会などで配布。年度末までに60冊販売した。
11. 初期救急医療機関に住所・名称変更および受け入れ状況について、10月にアンケートを行った。
12. 新生児電話相談マニュアルを作成した。
13. 産婦人科医会の協力を得て、産婦人科医に新生児の受け入れや相談についてアンケートを行った。
14. 事務局職員のプログラムに関するスキルアップが図られ、事務局の人員増の見通しが立った。
15. 話中電話の実態調査について、検討した。

2022年度の課題としては以下が挙げられた。

1. COVID-19感染症の小児患者急増の際にも、保健所との連携はできなかった。
2. 増加する相談に対して、受け入れ体制は十分ではなかった。
3. 薬に関する相談・小児内科以外の診療科の受け入れなど懸案事項は取り組めなかった。
4. 動画検索作業は今年度は行えなかった。
5. 新生児期の相談に対し、案内できる受け入れ機関を十分明示できなかった。
6. 初期救急医療機関との連携は緒についたばかりである。
7. 保護者への啓発については、直接または日中の診療機関を通じても行えなかった。

II. 各事業報告の詳細

(1) 小児救急等に関する相談事業

①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

大阪府小児救急電話相談の運営を円滑に遂行することができた。準夜帯 19 時開始、20 時から 4 回線深夜帯 2 回戦を維持した。COVID-19 感染症第 7 波時の 7 月から 8 月中旬まで連日 200 件を超え、最高 322 件に達した。年間相談件数は総件数 73,075 件と過去最多であった。

②相談受付票の電子化事業

令和 4 年 8 月からコロナ関連の相談の入力フォームに入力が開始され、集計作業の負担が軽減された。それ以前の集計結果と入力内容に大きな差はなく、継続した評価は可能と判断した。

③データ集計事業

月々のデータ集計結果は毎月の運営委員会で NTT データ関西と大阪府に報告した。また、（一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、年 2 回の運営委員会での意見交換に加えて、2021 年度の相談事業のまとめについて医会会報に報告した。

(2) 普及啓発事業

①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

HP を見やすく、検索しやすい形に改訂し、保護者や一般を対象にした「お役立ち情報」に、COVID-19 に関する厚労省 HP からオンライン診療を実施する大阪府内小児科標榜機関リストやコラム等を掲載した。会員ページはセキュリティを強化し、出務表や研修スライドを掲載した。

②小児救急に関する講座・講師紹介事業

保護者の家庭看護力向上や保育士、#8000 相談員を対象にした講義を行った（表 1）。

③クリニック対象に、保護者指導に関する冊子は、出版社と意向が合わず、作成できなかった。

表 1. 2021 年度講演・講座など一覧表

月日	研修・講演会名	場所	内容
7月8日	大阪府社会福祉協議会	大阪市	保育士研修
6月4日	令和4年度日本小児保険協会 小児救急電話相談スキルアップ研修会	東京都	電話相談基礎コース
5月30日・10月25日・1月23日	西宮市ファミリーサポートセンター	西宮市	保育サポーター研修
12月22日	ぴーかぶー	高槻市	保護者対象啓発講座
3月1日	神戸市ファミリーサポートセンター	神戸市	協力会員研修
9月19日	日本小児科医会 #8000小児科医オンラインセミナー	東京都	一般対象公開講座
1月29日	子どもの病気やケガを 保護者が安心して見守るために	高松市	第15回香川県小児保健協会研究会
2月21日	#8000から考える小児救急と保護者支援	福岡市	福岡県小児救急医療電話相談事業研修会
2月11日・3月8日	厚生労働省#8000対応者研修	東京都	全国#8000相談員研修

(3) 人材養成事業

①電話相談員研修事業

大阪府#8000 相談員を対象とした電話相談の研修は、年間 6 回 ZOOM による WEB を併用したハイブリッド形式で開催した。外部講師として佐野先生には新生児の相談についてお話しいただき、好評であった。これまでの研修内容から、#8000 に特に必要な内容を抜粋し編集した研修も内容の共有を図ることができると好評であった。

表2. 2022 年度相談員研修報告

開催日	場所	研修内容	講師	参加人数
5月21日	たかつガーデン・ZOOM	令和3年度まとめ 令和4年度事業に向けて	阿部榮子・福井聖子	20名
7月	上本町事務所	自分の声を聞いてみましょう	阿部榮子・福井聖子	6名
9月1日	上本町事務所・ZOOM	これまでの研修から～NO1	福井聖子	26名
11月26日	上本町事務所・ZOOM	これまでの研修から～NO2	福井聖子	15名
2月18日	たかつガーデン・ZOOM	新生児の相談	さの赤ちゃんクリニック 佐野 博之先生	42名
3月11日	上本町事務所・ZOOM	改めて、電話相談を考える	福井聖子	8名

②電話対応研修事業

8月28日、福岡国際会議場 第32回日本外来小児科学会にて、ワークショップを行った。

開催日	場所	研修内容	スタッフ数	参加人数
8月28日	福岡国際会議場	第32回日本外来小児科学会 ワークショップ	6名	18名

(4) 調査・研究事業

①電話相談内容の分析事業

8月27日に第32回日本外来小児科学会で、「新型コロナウイルス感染症関連の相談の報告」について発表した。

2021年度小児救急電話相談実績報告書において、年度のまとめを作成した。(一社)大阪小児科医会の会報202号に年度報告を掲載した。

Ⅲ. 事務局管理に関する事項

NPO法人さぼネット事務所の住所を変更した。事務局職員のプログラムに関するスキルアップが図られ、事務局の人員増の見通しが立った。

Ⅳ. 社員総会の開催状況

第8回通常総会 2022年5月21日(土曜日) 14:00～14:30

場所：大阪府教育会館 たかつガーデン

社員総数：54名 出席者数：46名（うち委任状出席者27名）

- 内容：1. 2021 年度事業報告・会計報告について
2. 2022 年度事業計画・事業予算について
3. 役員改選について
4. NPO 法人事業所の住所変更について
5. その他

以上について、承認を得た。

V. 理事会その他の役員会の開催状況

理事会

2022年8月20日（土曜日） 16：20～17：30

場所：上本町事務所 出席：理事4名・監事1名・オブザーバー1名

1. 2021 年度事業報告・会計報告について
2. 2022 年度事業計画・事業予算について
3. 年間研修計画・実施状況報告
4. 大阪府#8000相談事業でのコロナ関係の相談件数・内容の推移
5. 今後のNPO 法人の運営に向けて
6. 理事交代の件（令和5年6月末日）
7. その他

定例会

毎月1回 理事長と事務局職員で進捗状況を確認。